

妊婦のインフルエンザ予防に関する疫学調査 「入院状況調査」に関するご協力のお願い

大阪産婦人科医会会長 高木 哲
厚生労働省研究班代表 廣田 良夫
(大阪市立大学公衆衛生学教授)

従来、世界保健機関（WHO）は、インフルエンザ予防接種の優先対象に高齢者を位置付けてまいりましたが、2012年11月に「妊婦」を最優先とすることを新たに示しました。これを受け、厚生労働省から、妊婦におけるインフルエンザの健康影響を評価するよう、調査協力依頼がありました。

そこで、大阪産婦人科医会は、厚生労働省の研究班「予防接種に関するワクチンの有効性・安全性に関する分析疫学研究班」と共同で、大阪府内の産科医療機関に通院中の妊婦を対象に、妊婦とその児の入院について調べています。本調査の詳細は、ホームページに掲載しております（<http://pregnaepidemi.grupo.jp>）。

この度、対象者のアンケート調査において、貴施設への入院歴があるとの回答があったため、入院中の診療情報につき、お伺いいたします。ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

なお、対象者からは、貴施設への問い合わせにつき、別紙のごとく、同意をいただいております。

－ ご協力いただきたい内容 －

- ① 対象者の「入院状況調査票」に、ご回答をお願いいたします。
- ② ご回答後は、同封の返信用封筒にて、ご返送ください。

〈 調査の実施 と 個人情報の保護 について 〉

- ・ この調査は、大阪産婦人科医会と厚生労働省の研究班が協力して行っています。また、データセンターとして（株）メディサイエンスプランニングの協力を得ております。
- ・ この調査は、大阪市立大学医学部の倫理委員会の承認を得ています。また、（株）メディサイエンスプランニングでは個人情報保護方針を規定し、個人情報保護に関する体制整備を徹底しております。
- ・ ご提供いただいた情報は、データセンターおよび大阪市立大学にて管理いたしますが、プライバシー保護のため、個人が特定できないような単なる数字の情報に変換して厳重に管理いたします。
- ・ 調査の結果を公表する場合にも、個人名が出ることは絶対にありません。

医学的事項に関するお問い合わせ先： 〒545-8585 大阪市阿倍野区旭町 1-4-3
大阪市立大学大学院医学研究科・産婦人科学（電話：06-6645-3862）
調査全般に関するお問い合わせ先： 〒545-8585 大阪市阿倍野区旭町 1-4-3
大阪市立大学大学院医学研究科・公衆衛生学（電話：06-6645-3756）
調査に関するホームページ： <http://pregnaepidemi.grupo.jp/>